

患者さまへ

「当院における上腸間膜動脈閉塞症 10 例の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ることが必要とされています。同意いただける場合は、その旨を担当者にお伝えください。また、適切な同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2019 年 4 月～2024 年 10 月に当院で上腸間膜動脈閉塞症にて外科治療を受けられた方
2 研究目的・方法	上腸間膜動脈閉塞症は比較的稀な疾患ですが致死率が高く緊急の処置が必要となります。治療は血行再建と虚血腸管の管理です。この研究では外科的血栓除去や血管内治療の現状を把握し、予後や最善の治療法について考察し救命率の向上に繋がります。対象者の方の診療録から検討します。 研究の期間:施設院長許可(2025 年 3 月予定)後～2025 年 12 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。また、同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	① 背景(年齢、性別 等) ② 病歴情報(原疾患、合併症、発症からの時間 等) ③ 画像所見 ④ 手術内容(手術時間、血管内治療の有無、外科的血行再建の有無、壊死腸管/腸管切除の有無 等) ⑤ 予後(退院時経摂取の有無、転帰 等) ⑥ 術前、術後の臨床検査値(白血球数、尿素窒素、クレアチニン、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ/アラニンアミノトランスフェラーゼ 等)
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 澤村直輝 湘南藤沢徳洲会病院 外科医長 住所: 神奈川県藤沢市辻堂神台 1-5-1 連絡先: 0466-35-1177
-----------	--

2025 年 3 月 28 日作成(第 1.1 版)